

Microsoft AD と CUAC の統合

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[AD を CUAC と統合、AD からユーザをインポートして下さい](#)

[CUAC と AD 間の LDAP 機能性](#)

[LDAP プロセス 要約](#)

[LDAP プロセスの詳細](#)

概要

この資料は 2 つのシステムを統合ために使用される Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) が Cisco Unified Attendant Console (CUAC) の間でおよび Microsoft Active Directory (AD) および手順はたらく方法を記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CUCM
- CUAC
- LDAP
- AD

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CUAC バージョン 10.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

以前の CUAC バージョンでは、サーバは済みクエリおよびフィルターで Cisco Unified Communications Manager (CUCM) からのユーザを直接得ます。CUAC 優れた版 (CUACPE) によって、管理者は AD からユーザを直接統合、インポートすることができます。これは属性の実装および自身の選択および必要条件のフィルター用の管理者に柔軟性を与えます。

注: CUACPE はバージョン 10 および それ 以降のための CUAC によって進められる版と今取り替えられてしまいました。

AD を CUAC と統合、AD からユーザをインポートして下さい

CUAC を AD と統合、AD からユーザをインポートするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. CUAC の AD のためのディレクトリ同期を有効に して下さい。
2. アクティブ ディレクトリを 『Microsoft』 を選択し、イネーブル 同期 チェックボックスを チェックして下さい:
3. アクティブディレクトリサーバのためのコンフィギュレーションの詳細を入力して下さい:

この例に関しては、`administrator@aloksin.lab` は認証のために使用されます:

4. プロパティ設定では入力し、他の詳細を一度 『SAVE』 をクリック する現われる一意のプロパティのためのコンフィギュレーションの詳細を区分して下さい、入力して下さい。

注: これは AD の各エントリの固有の値です。重複する値がある場合、CUAC は 1 つのエントリだけ引っぱり張ります。

5. コンテナ セクションでは、ベース DN のためのコンフィギュレーションの詳細を入力して下さい、AD のユーザ の 検索 スコープである。

オブジェクト クラス クラス フィールドは AD によって要求された検索スコープを判別するために使用されます。デフォルトで、連絡することを設定 しますつまり AD が要求された

検索ベースの連絡先 (ないユーザ) を探すことを意味します。CUAC のユーザをインポートするために、設定するユーザにオブジェクト クラスを変更して下さい:

6. 設定を保存し、フィールド マッピングを『Directory』 をクリックし、あらゆるユーザ向けにインポートすることを望む属性すべてを設定して下さい。設定はここにありますがこの例で使用される:
 7. Source ページ ディレクトリにナビゲートし、ルールを『Directory』 をクリックして下さい:
 8. ルールを『Add New』 をクリックし、作成して下さい。ディレクトリ ルールを追加するとき、ルール フィルタはデフォルトで現われます。
- 注: ルール フィルタを変更する必要がありません。それは電話番号を設定してもらうユーザ全員をインポートします。
9. auto-sync を AD で設定するために、ディレクトリ同期タブをクリックして下さい。
 10. 設定はこれで完了しました。 > サービス管理は設計にナビゲートし、同期化を手動で開始するために LDAP プラグインを再起動します。

CUAC と AD 間の LDAP 機能性

LDAP プロセス 要約

CUAC と AD 間の LDAP プロセスの要約はここにあります:

1. TCP セッションは 2 つのサーバの間で設定されます (CUAC および AD)。
2. CUAC は AD に BIND 要求を送信し、認証設定で設定されるユーザによって認証します。
3. AD がユーザの認証に成功すれば、CUACPE に BIND 成功通知を送信します。
4. CUAC は検索スコープ情報が、検索用のフィルタあり、あらゆるフィルタ処理されたユーザ向けに帰因する AD に検索要求を送信します。
5. AD は検索ベースの要求されたオブジェクトのために (オブジェクト クラス設定で設定される) スキャンします。それは検索要求 メッセージで詳述された条件 (フィルタ) を満たし

たオブジェクトをフィルタ・アウトします。

6. AD は検索結果を用いる CUAC に応答します。

これらのステップを説明するスニフアー キャプチャはここにあります:

LDAP プロセスの詳細

CUAC の設定が完了し、LDAP プラグインが再起動すれば、CUAC サーバは AD の TCP セッションを設定します。

CUAC は AD サーバと認証するためにそれから BIND 要求を送信します。認証が正常である場合、AD は CUAC への BIND 成功応答を返します。これによって、サーバは両方ともユーザおよび情報を同期するためにポート 389 のセッションを設定するように試みます。

サーバの設定はここにあります BIND トランザクションで認証のために使用される識別名を定義する、:

パケットキャプチャにこれらのメッセージが現れます:

- BIND 要求に先行している TCP ハンドシェイクはここにあります:

- BIND 要求の展開はここにあります:

- ユーザ (この例の管理者) の認証の成功を示す BIND 応答の展開はここにあります、:

正常なバインドに、サーバは AD にユーザをインポートするために検索要求を送信します。この検索要求は AD によって使用する属性およびフィルタが含まれています。AD はフィルタおよび属性確認の基準を達成する定義された検索ベース内のユーザをそれから (検索要求 メッセージで説明されているように) 捜します。

CUCM によって送信される 検索要求の例はここにあります:

```
Lightweight Directory Access Protocol
  LDAPMessage searchRequest(2) "dc=aloksin,dc=lab" wholeSubtree
    messageID: 2
    protocolOp: searchRequest (3)
      searchRequest
        baseObject: dc=aloksin,dc=lab
        scope: wholeSubtree (2)
        derefAliases: derefAlways (3)
        sizeLimit: 0
        timeLimit: 0
        typesOnly: False
        Filter: (&(&(objectclass=user)!(objectclass=Computer)))
        (!((UserAccountControl:1.2.840.113556.1.4.803:=2)))
          filter: and (0)
            and: (&(&(objectclass=user)!(objectclass=Computer)))
            (!((UserAccountControl:1.2.840.113556.1.4.803:=2)))
            and: 3 items
```

```

Filter: (objectclass=user)
  and item: equalityMatch (3)
    equalityMatch
      attributeDesc: objectclass
      assertionValue: user
Filter: (!(objectclass=Computer))
  and item: not (2)
    Filter: (objectclass=Computer)
      not: equalityMatch (3)
        equalityMatch
          attributeDesc: objectclass
          assertionValue: Computer
Filter: (!(UserAccountControl:1.2.840.113556.1.4.
803:=2))
  and item: not (2)
    Filter: (UserAccountControl:1.2.840.113556
.1.4.803:=2)
      not: extensibleMatch (9)
        extensibleMatch UserAccountControl
          matchingRule: 1.2.840.113556.
1.4.803
          type: UserAccountControl
          matchValue: 2
          dnAttributes: False

```

attributes: 15 items

```

AttributeDescription: objectguid
AttributeDescription: samaccountname
AttributeDescription: givenname
AttributeDescription: middlename
AttributeDescription: sn
AttributeDescription: manager
AttributeDescription: department
AttributeDescription: telephonenumber
AttributeDescription: mail
AttributeDescription: title
AttributeDescription: homephone
AttributeDescription: mobile
AttributeDescription: pager
AttributeDescription: msrtcsip-primaryuseraddress
AttributeDescription: msrtcsip-primaryuseraddress

```

[Response In: 103]

controls: 1 item

Control

```

controlType: 1.2.840.113556.1.4.319 (pagedResultsControl)
criticality: True
SearchControlValue
  size: 250
  cookie: <MISSING>

```

ADはCUCMからこの要求を受け取るとき、**baseObject**のユーザを捜します: **dc=aloksin**、フィルタを満たす**dc=lab**。フィルタによって詳述される必要条件を満たさないどのユーザでも省かれます。ADはフィルタ処理されたユーザ全員のCUCMに応答し、要求された属性の値を送信します。

注: オブジェクトはインポートすることができません。ユーザだけインポートされます。検索要求メッセージで送信されるこれはフィルタが **objectclass=user** が含まれているという理由によります。それ故に、ADはユーザをだけ、ない連絡先捜します。CUCMにこれらのマッピングおよびフィルタすべてがデフォルトであります。

CUACはデフォルトで設定されません; マッピングが詳述しますユーザ向けの属性をインポートするために設定されておりません従ってこれらの詳細を手動で入力して下さい。これらのマッピ

ングを、ナビゲート システム構成 > ディレクトリ ソース管理 > アクティブ ディレクトリ > Directory フィールド マッピングに作成するため。

管理者は自身の要件ごとの Map フィールドに許可されます。次に例を示します。

Source フィールド 情報は検索要求 メッセージの AD に送信 されます。AD が検索応答メッセージを送信 するとき、これらの値は CUACPE で宛先 フィールドで保存されます。

CUAC にデフォルトで連絡先に設定 されるオブジェクト クラスがあることに注目して下さい。AD に送信 されるこのデフォルト設定が使用される場合、フィルタはここに示されているように現われます:

```
Filter: (&(&(objectclass=contact)( .....))
```

このフィルタによって、AD は CUACPE に決して検索ベースの連絡先を捜すのでユーザを、ないユーザ戻しません。従って、ユーザにオブジェクト クラスを変更して下さい:

このポイントまで、これらの設定は CUAC で行われました:

- 接続詳細
- 認証 (結合のための顕著なユーザ)
- コンテナ設定
- ディレクトリ マッピング すること

この例では、一意のプロパティは **sAMAccountName** で設定されます。CUAC で差込式 LDAP を再起動し、検索要求 メッセージをチェックする場合、**ObjectClass=user** を除く属性がフィルタが含まれていません:

```
Lightweight Directory Access Protocol
LDAPMessage searchRequest(224) "dc=aloksin,dc=lab" wholeSubtree
messageID: 224
protocolOp: searchRequest (3)
searchRequest
  baseObject: dc=aloksin,dc=lab
  scope: wholeSubtree (2)
  derefAliases: neverDerefAliases (0)
  sizeLimit: 1
  timeLimit: 0
  typesOnly: True
  Filter: (ObjectClass=user)
    filter: equalityMatch (3)
      equalityMatch
        attributeDesc: ObjectClass
        assertionValue: user
    attributes: 0 items
[Response In: 43]
```

ディレクトリ ルールがここに抜けていることに注目して下さい。連絡先を AD と同期するために、ルールを作成して下さい。デフォルトで、設定されるディレクトリ ルールがありません。1 つが作成されるとすぐ、フィルタは既にあります。電話番号を持っているユーザの import all なるようにフィルタを変更する必要がありません。

AD の同期化を始め、ユーザをインポートするために LDAP プラグインを再起動して下さい。CUAC からの検索要求はここにあります:

```
Lightweight Directory Access Protocol
LDAPMessage searchRequest(4) "dc=aloksin,dc=lab" wholeSubtree
messageID: 4
protocolOp: searchRequest (3)
```

```

searchRequest
  baseObject: dc=aloksin,dc=lab
  scope: wholeSubtree (2)
  derefAliases: neverDerefAliases (0)
  sizeLimit: 0
  timeLimit: 15
  typesOnly: False
  Filter: (&(&(objectclass=user)(telephoneNumber=*))
(!((UserAccountControl:1.2.840.113556.1.4.803:=2)))
  filter: and (0)
    and: (&(&(objectclass=user)(telephoneNumber=*))
(!((UserAccountControl:1.2.840.113556.1.4.803:=2)))
    and: 3 items
      Filter: (objectclass=user)
        and item: equalityMatch (3)
          equalityMatch
            attributeDesc: objectclass
            assertionValue: user
      Filter: (telephoneNumber=*)
        and item: present (7)
          present: telephoneNumber
      Filter: (!(UserAccountControl:1.2.840.113556.
1.4.803:=2))
        and item: not (2)
          Filter: (UserAccountControl:1.2.840.113556.
1.4.803:=2)
            not: extensibleMatch (9)
              extensibleMatch UserAccountControl
                matchingRule: 1.2.840.113556.1.
4.803
                type: UserAccountControl
                matchValue: 2
                dnAttributes: False
  attributes: 10 items
    AttributeDescription: TELEPHONENUMBER
    AttributeDescription: MAIL
    AttributeDescription: GIVENNAME
    AttributeDescription: SN
    AttributeDescription: sAMAccountName
    AttributeDescription: ObjectClass
    AttributeDescription: whenCreated
    AttributeDescription: whenChanged
    AttributeDescription: uSNCreated
    AttributeDescription: uSNChanged

```

[Response In: 11405]

controls: 1 item

Control

controlType: 1.2.840.113556.1.4.319 (pagedResultsControl)

SearchControlValue

size: 500

cookie: <MISSING>

AD が検索要求 メッセージで詳述された条件を満たしたユーザを見つければユーザ情報が含まれている *SearchResEntry* メッセージを送信 します。

SearchResEntry メッセージはここにあります:

Lightweight Directory Access Protocol

LDAPMessage searchResEntry(4) "CN=Suhail Angi,CN=Users,DC=aloksin,DC=lab" [4 results]

messageID: 4

protocolOp: searchResEntry (4)

searchResEntry

objectName: CN=Suhail Angi,CN=Users,DC=aloksin,DC=lab

attributes: 9 items

```
PartialAttributeList item objectClass
  type: objectClass
  vals: 4 items
    top
    person
    organizationalPerson
    user
PartialAttributeList item sn
  type: sn
  vals: 1 item
    Angi
PartialAttributeList item telephoneNumber
  type: telephoneNumber
  vals: 1 item
    1002
PartialAttributeList item givenName
  type: givenName
  vals: 1 item
    Suhail
PartialAttributeList item whenCreated
  type: whenCreated
  vals: 1 item
    20131222000850.0Z
PartialAttributeList item whenChanged
  type: whenChanged
  vals: 1 item
    20131222023413.0Z
PartialAttributeList item uSNCreated
  type: uSNCreated
  vals: 1 item
    12802
PartialAttributeList item uSNChanged
  type: uSNChanged
  vals: 1 item
    12843
PartialAttributeList item sAMAccountName
  type: sAMAccountName
  vals: 1 item
    sangi
```

[Response To: 11404]

[Time: 0.001565000 seconds]

Lightweight Directory Access Protocol

LDAPMessage searchResEntry(4) "CN=Pragathi NS,CN=Users,DC=aloksin,DC=lab" [5 results]

messageID: 4

protocolOp: searchResEntry (4)

searchResEntry

objectName: CN=Pragathi NS,CN=Users,DC=aloksin,DC=lab

attributes: 9 items

```
PartialAttributeList item objectClass
  type: objectClass
  vals: 4 items
    top
    person
    organizationalPerson
    user
```

```
PartialAttributeList item sn
  type: sn
  vals: 1 item
    NS
```

```
PartialAttributeList item telephoneNumber
  type: telephoneNumber
  vals: 1 item
    1000
```

.....

....{message truncated}.....
.....

注: このアトリビュートが要求されるのに、応答にメールがありません。これはメール ID が AD のユーザ向けに設定されなかったという理由によります。

これらの値が CUAC によって受け取られれば、構造化照会言語 (SQL) 表でそれらを保存します。それからコンソールにログイン することができコンソールは CUACPE サーバのこの SQL 表からのユーザー一覧を取出します。